

岡山県感染症週報 2012 年 第 35 週 (8 月 27 日～9 月 2 日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症警報』発令中です。

◆2012 年 第 35 週 (8/27～9/2) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第 33 週 2 類感染症 結核 1 名 (30 代 女)

第 34 週 2 類感染症 結核 2 名 (20 代 男 1 名、60 代 男 1 名)

第 35 週 2 類感染症 結核 5 名 (20 代 女 1 名、30 代 男 2 名、60 代 女 1 名、90 代 女 1 名)

3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 5 名

(O157: 20 代 男 1 名、30 代 男 1 名・女 1 名、O145: 40 代 男 1 名
型別不能: 30 代 女 1 名)

■定点把握感染症の発生状況

○RS ウイルス感染症は、患者が増加しました。

○百日咳は、5 名の発生がありました。

○ヘルパンギーナは、前週より減少しました。

- 腸管出血性大腸菌感染症**は、第 35 週は 5 名の発生がありました。2012 年第 1～35 週までの累計報告数は 137 名にのぼっています。このうち 8 月の届出数は 115 名であり、倉敷市の 3 保育園における集団発生が 104 名、その他の散発事例が 11 名でした。

例年、8 月をピークとして 7 月中旬から 9 月中旬にかけて患者発生が多く見られ、今後もひきつづき予防対策を行うことが重要です。岡山県は「[腸管出血性大腸菌感染症警報](#)」を県下全域に発令し、より一層の注意を呼びかけています。腸管出血性大腸菌は微量の菌で感染します。食肉の十分な加熱処理、手洗いの励行などにより、食中毒やヒトからヒトへの二次感染を予防しましょう。

症状や予防法など、詳しくは岡山県感染症情報センターホームページ『[腸管出血性大腸菌感染症警報 発令中!](#)』をご覧ください。

また、倉敷市の 3 保育園で発生した集団発生において「第 2 回倉敷市腸管出血性大腸菌 (O-26) による集団発生対策専門家会議」が 9 月 4 日に開催され、本集団感染は終息したと判断されました。
- RS ウイルス感染症**の定点あたり患者数は、前週より増加しました (定点あたり 0.00 → 0.19 人)。全国統計では第 28 週 (7 月中旬) 以降増加がつづいており、岡山県でも今後の患者増加が懸念されます。

RS ウイルス感染症は、例年 11～1 月に増加する感染症ですが、2011 年は 7 月頃から患者増加が始まりました。今年の動向についても、今後注意が必要です。

([国立感染症研究所 感染症の話「RS ウイルス感染症」](#)、[全国 RS ウイルス感染症グラフ](#))
- 百日咳**は、今週 5 名 (定点あたり 0.09 人) の発生があり、岡山県としては患者が多くなりました。詳しくは『[今週の注目感染症](#)』をご覧ください。
- ヘルパンギーナ**の定点あたり患者数は、前週より減少しました (定点あたり 1.13 → 1.02 人)。第 30 週から減少が続いており、流行は終息に向かっているものと思われます。
- 風しん**は、全国統計では、8 月 23 日～29 日の一週間に 73 名の届出があり、2012 年の累計報告数は 8 月 29 日までに 1,333 名になりました。全数報告対象疾患になった 2008 年以降、1 年間の累計患者数が最も多かった 2011 年の 371 名を大幅に越え、約 3.6 倍の発生になっています。ひきつづき近畿地方 (特に大阪府、兵庫県) ・関東地方 (特に東京都、神奈川県) で患者報告が多く、今後も動向に注意が必要です。

岡山県では、2012 年はこれまでに 5 名の発生がありました。

([全国風しん発生動向調査](#) [国立感染症研究 HP](#)、[岡山県感染症情報センター HP](#))

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↓		RSウイルス感染症	↑	★
咽頭結膜熱	↘	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★
感染性胃腸炎	→	★★	水痘	↗	★
手足口病	→	★	伝染性紅斑	→	★
突発性発疹	↗	★★★	百日咳	↑	★★
ヘルパンギーナ	↘	★	流行性耳下腺炎	↑	★
急性出血性結膜炎	→		流行性角結膜炎	↘	★
細菌性髄膜炎	→		無菌性髄膜炎	↓	
マイコプラズマ肺炎	↑	★	クラミジア肺炎	↑	★

【記号の説明】

前週からの推移：
 : 2倍以上の減少  : 1.1~2倍未満の減少  : 1.1未満の増減
 : 1.1~2倍未満の増加  : 2倍以上の増加

発生状況： 空白：発生なし ★：僅か ★★：少し ★★★：やや多い ★★★★：多い ★★★★★：非常に多い
 ※今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。

保健所別報告患者数 2012年 35週 (2012/08/27～2012/09/02)

2012年9月5日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	10	0.19	7	0.50	2	0.18	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	6	0.11	5	0.36	-	-	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	0.50	3	0.21	6	0.55	-	-	1	0.14	-	-	-	-	17	2.83
感染性胃腸炎	205	3.80	54	3.86	39	3.55	62	6.20	11	1.57	10	2.50	7	3.50	22	3.67
水痘	34	0.63	10	0.71	9	0.82	6	0.60	4	0.57	3	0.75	-	-	2	0.33
手足口病	18	0.33	9	0.64	5	0.45	-	-	2	0.29	-	-	-	-	2	0.33
伝染性紅斑	5	0.09	1	0.07	2	0.18	-	-	-	-	1	0.25	-	-	1	0.17
突発性発疹	41	0.76	21	1.50	8	0.73	8	0.80	-	-	-	-	-	-	4	0.67
百日咳	5	0.09	1	0.07	3	0.27	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	55	1.02	25	1.79	7	0.64	1	0.10	10	1.43	5	1.25	2	1.00	5	0.83
流行性耳下腺炎	29	0.54	7	0.50	5	0.45	4	0.40	10	1.43	3	0.75	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	8	0.67	4	0.80	3	0.75	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	0.40	-	-	1	1.00	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎	1	0.20	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2012年 35週 (2012/08/27～2012/09/02)

2012年9月5日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	6	0.11	5	0.36	-	-	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	0.50	3	0.21	6	0.55	-	-	1	0.14	-	-	-	-	17	2.83
感染性胃腸炎	205	3.80	54	3.86	39	3.55	62	6.20	11	1.57	10	2.50	7	3.50	22	3.67
水痘	34	0.63	10	0.71	9	0.82	6	0.60	4	0.57	3	0.75	-	-	2	0.33
手足口病	18	0.33	9	0.64	5	0.45	-	-	2	0.29	-	-	-	-	2	0.33
伝染性紅斑	5	0.09	1	0.07	2	0.18	-	-	-	-	1	0.25	-	-	1	0.17
百日咳	5	0.09	1	0.07	3	0.27	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	55	1.02	25	1.79	7	0.64	1	0.10	10	1.43	5	1.25	2	1.00	5	0.83
流行性耳下腺炎	29	0.54	7	0.50	5	0.45	4	0.40	10	1.43	3	0.75	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	8	0.67	4	0.80	3	0.75	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2

を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2012年 第35週 2012/08/27～2012/09/02)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

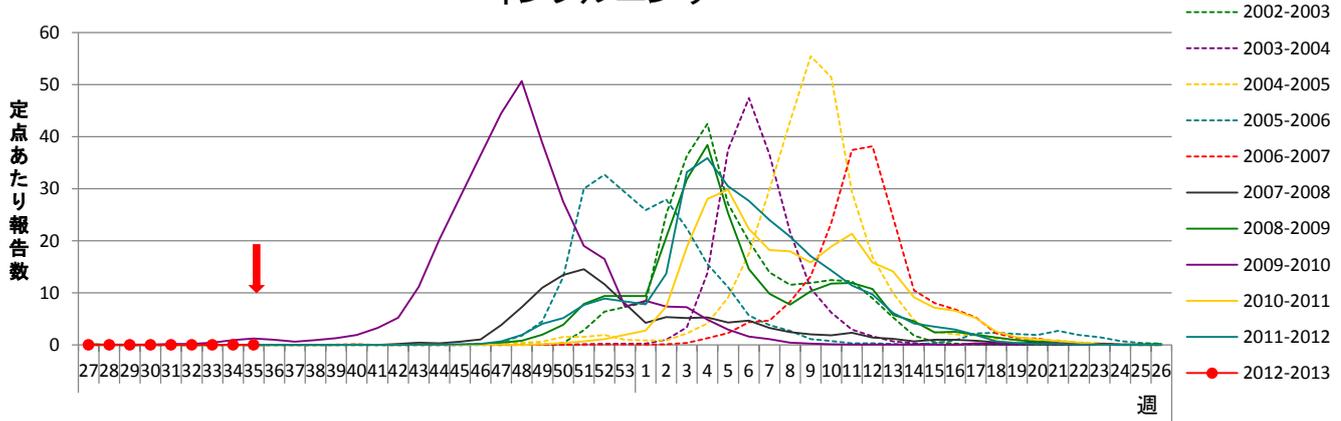
疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	10	-	6	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	6	-	2	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	1	-	2	3	1	7	3	4	1	3	-	2	-	-
感染性胃腸炎	205	5	21	45	19	18	14	11	7	7	12	3	20	7	16
水痘	34	2	-	6	2	5	6	2	2	3	1	4	1	-	-
手足口病	18	-	2	6	4	-	-	2	-	1	-	-	1	-	2
伝染性紅斑	5	-	-	1	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-
突発性発疹	41	-	23	14	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1
ヘルパンギーナ	55	2	4	13	6	11	8	1	4	1	-	-	3	-	2
流行性耳下腺炎	29	-	1	2	2	1	4	3	3	2	1	5	4	-	1

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	8	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	1	-

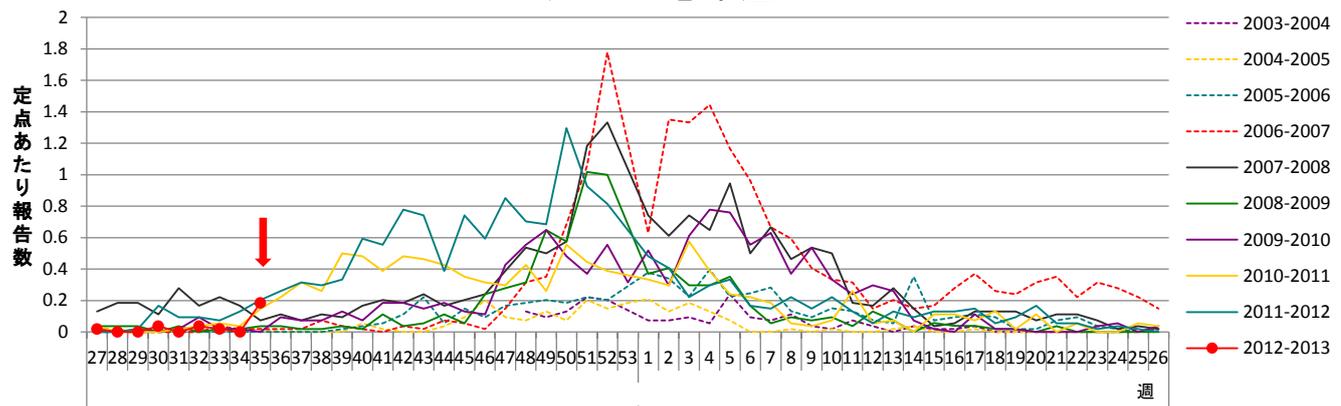
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

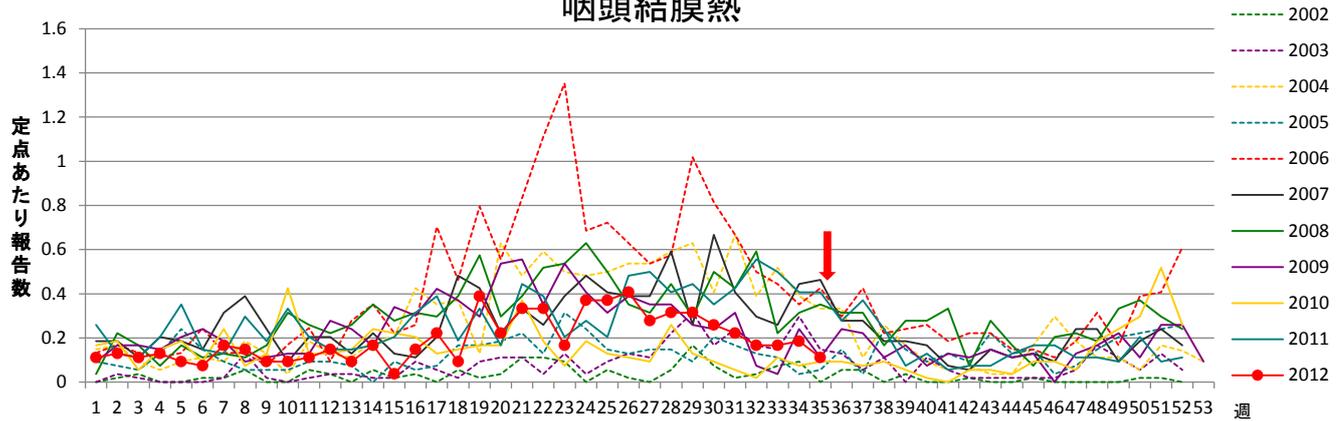
インフルエンザ



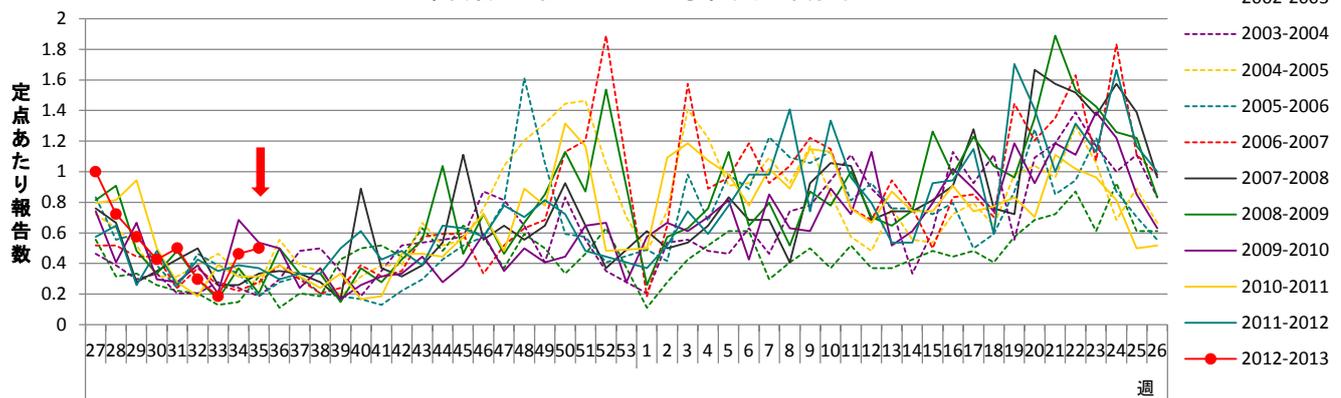
RSウイルス感染症



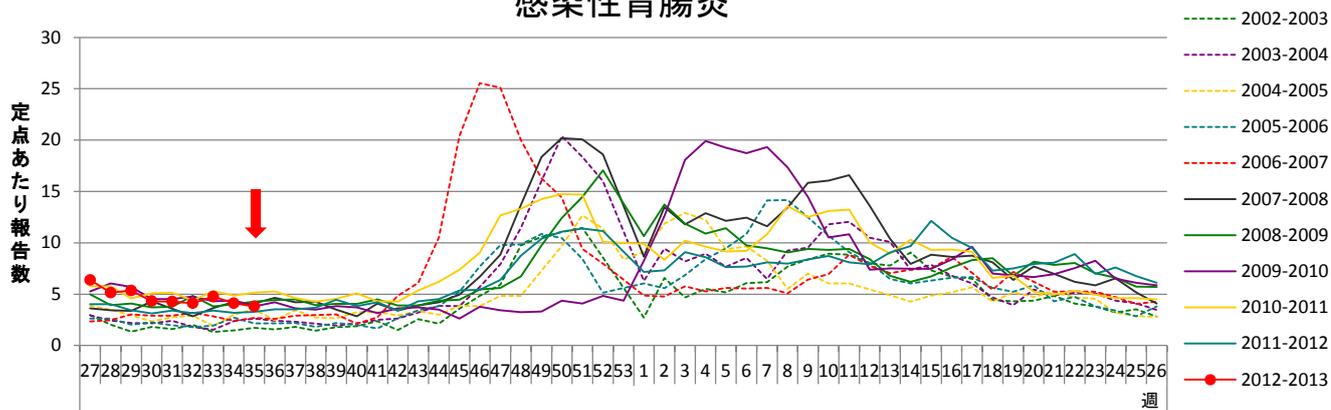
咽頭結膜熱



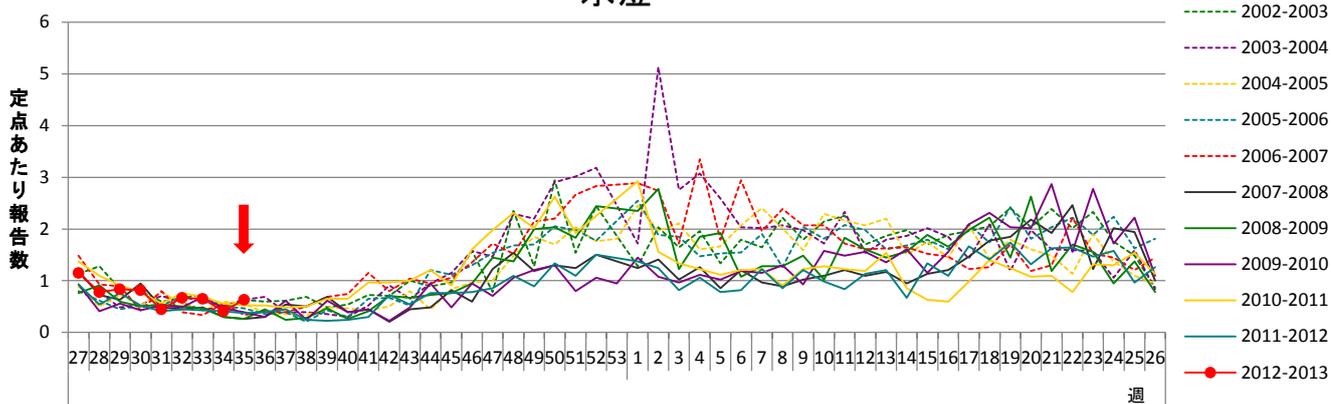
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



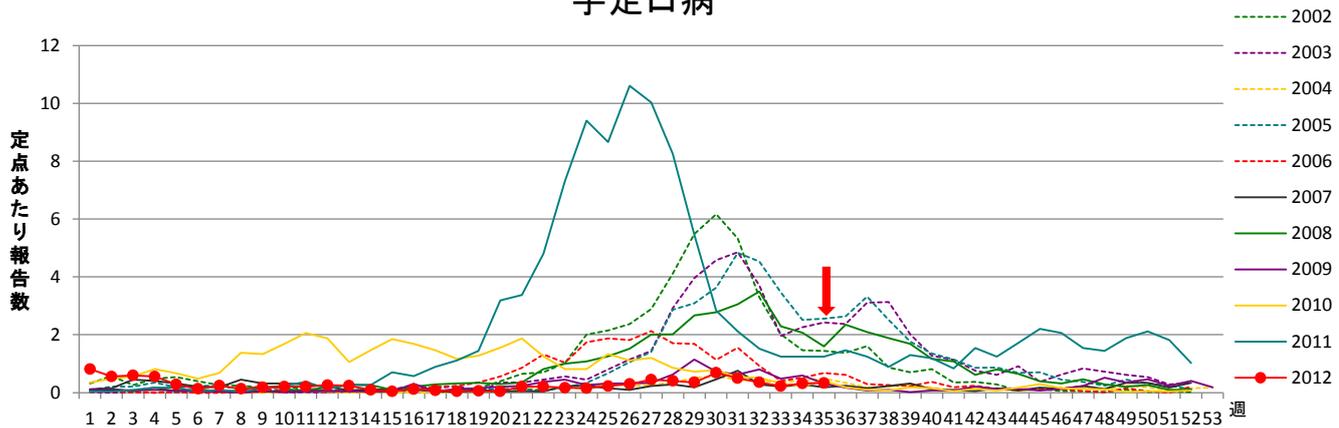
感染性胃腸炎



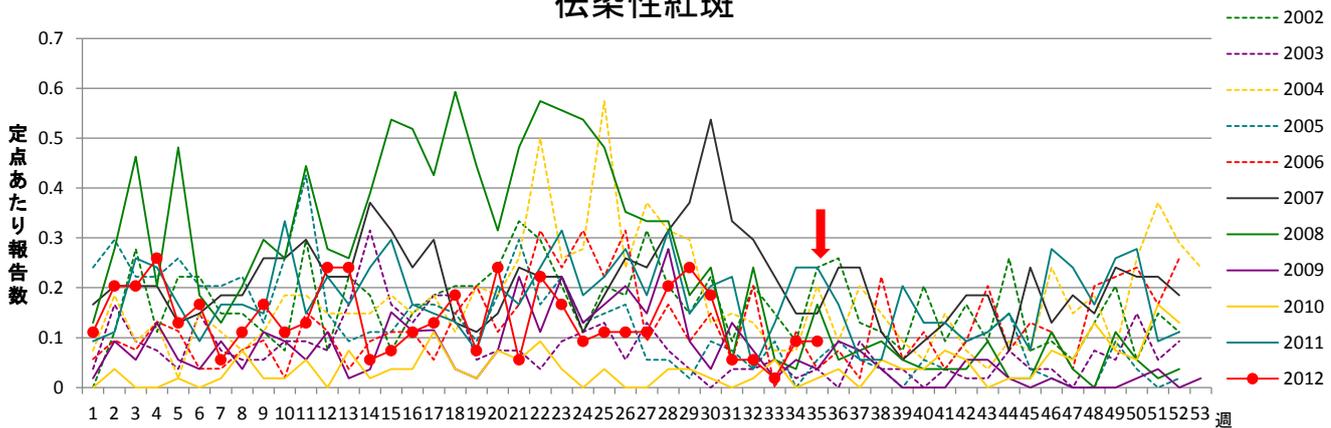
水痘



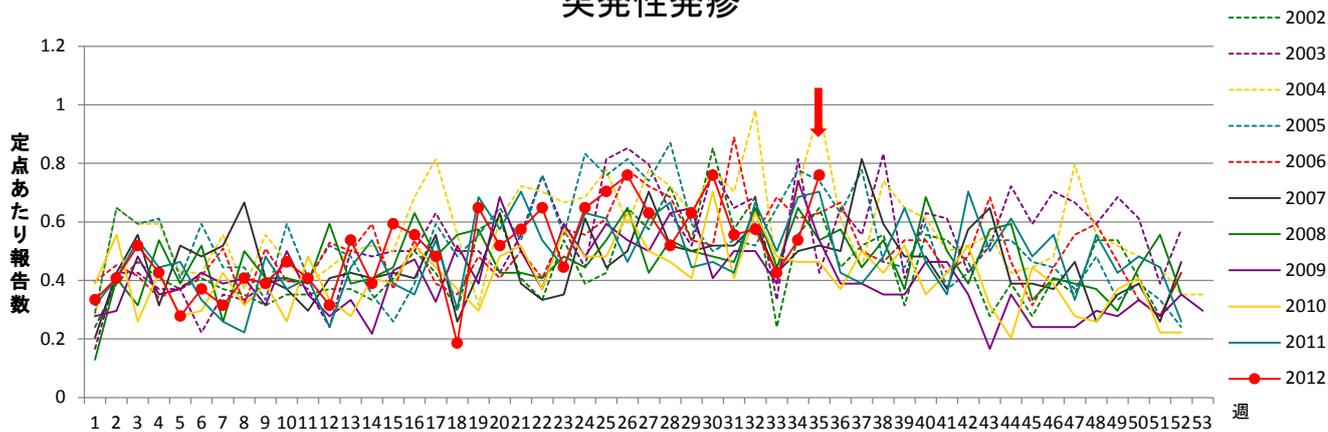
手足口病



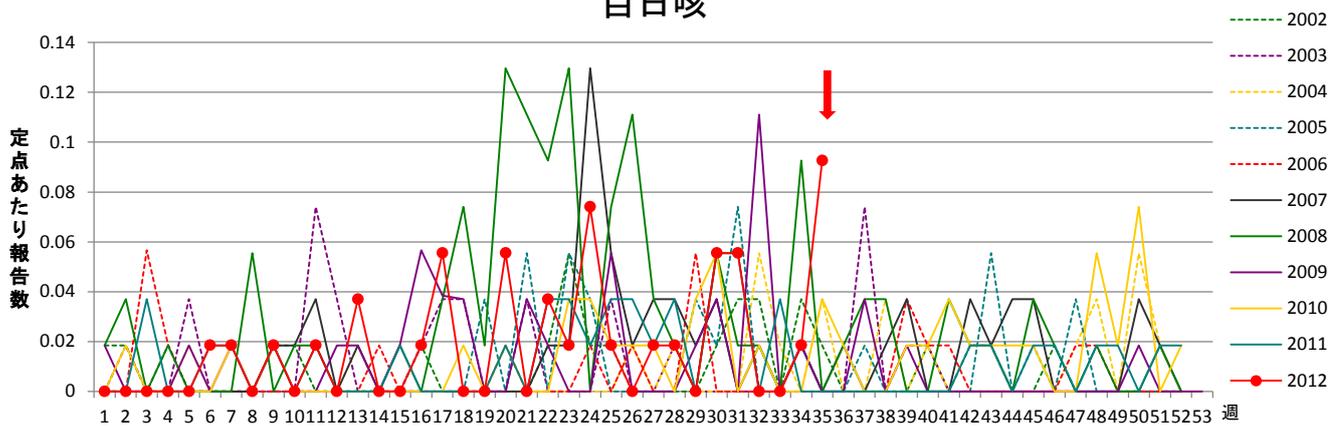
伝染性紅斑



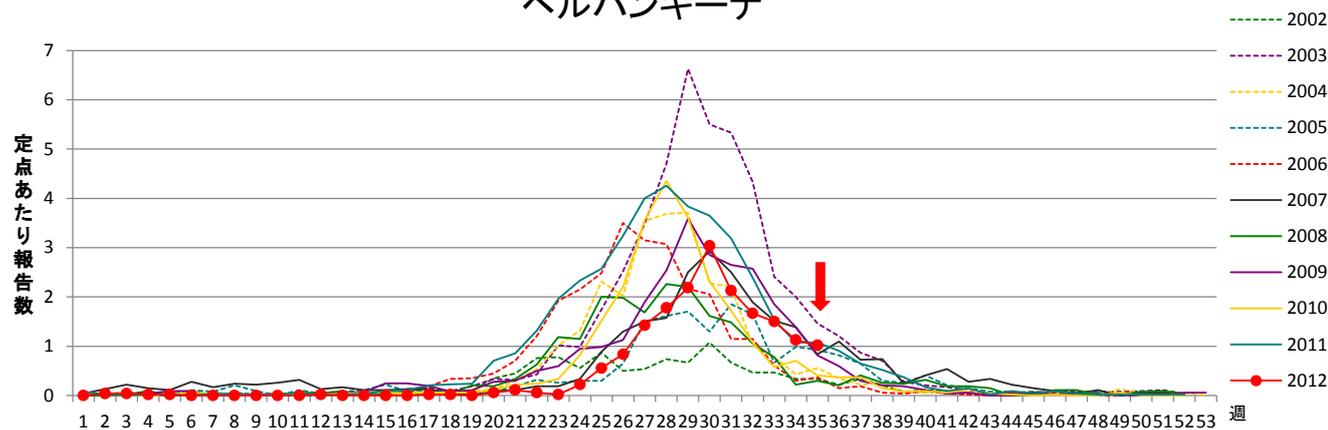
突発性発疹



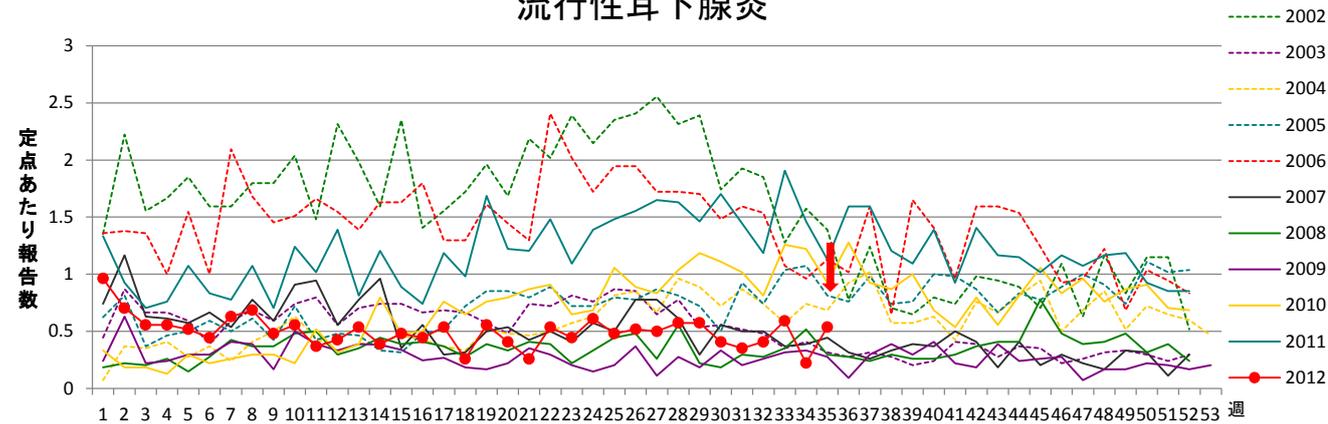
百日咳



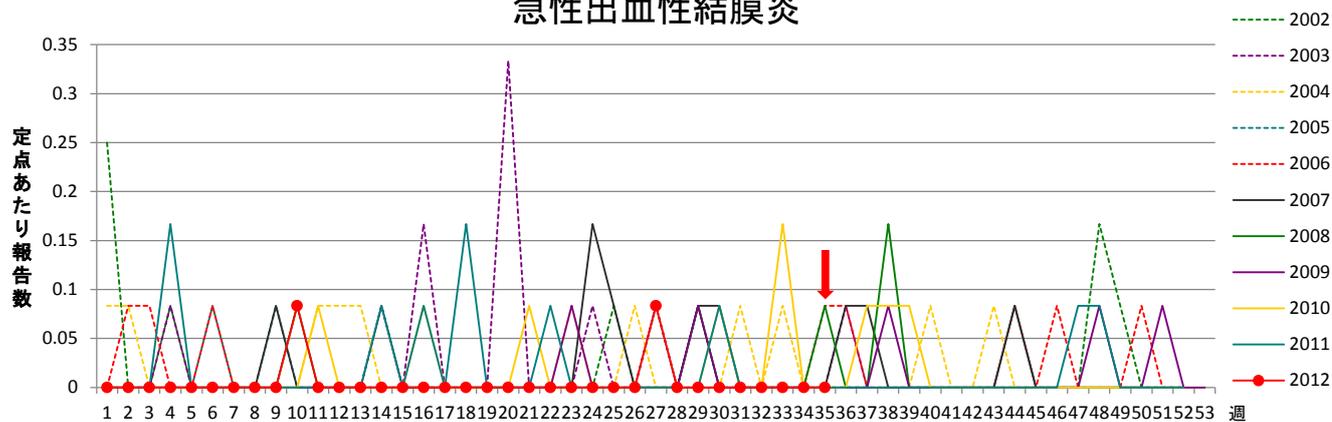
ヘルパンギーナ



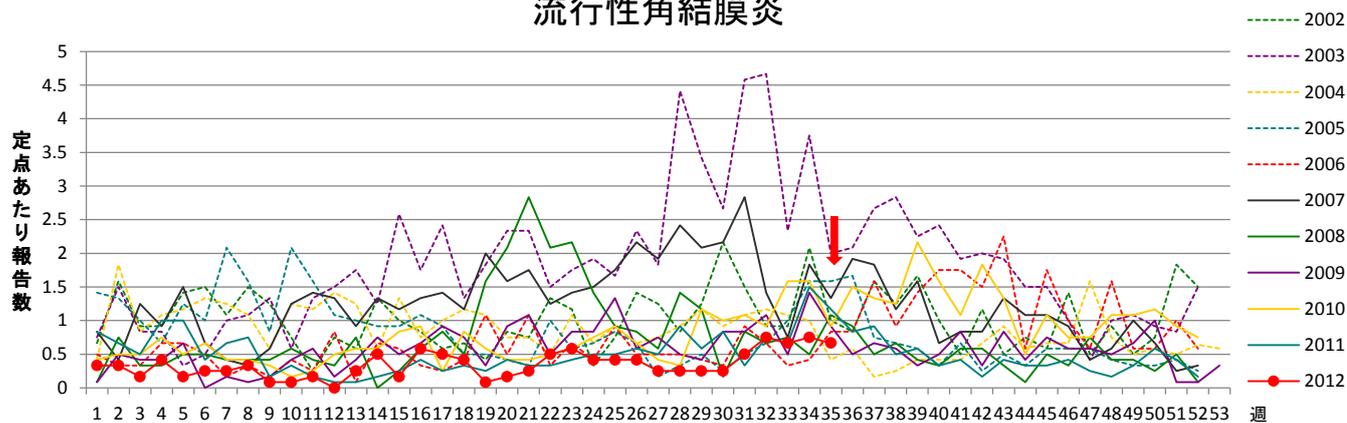
流行性耳下腺炎



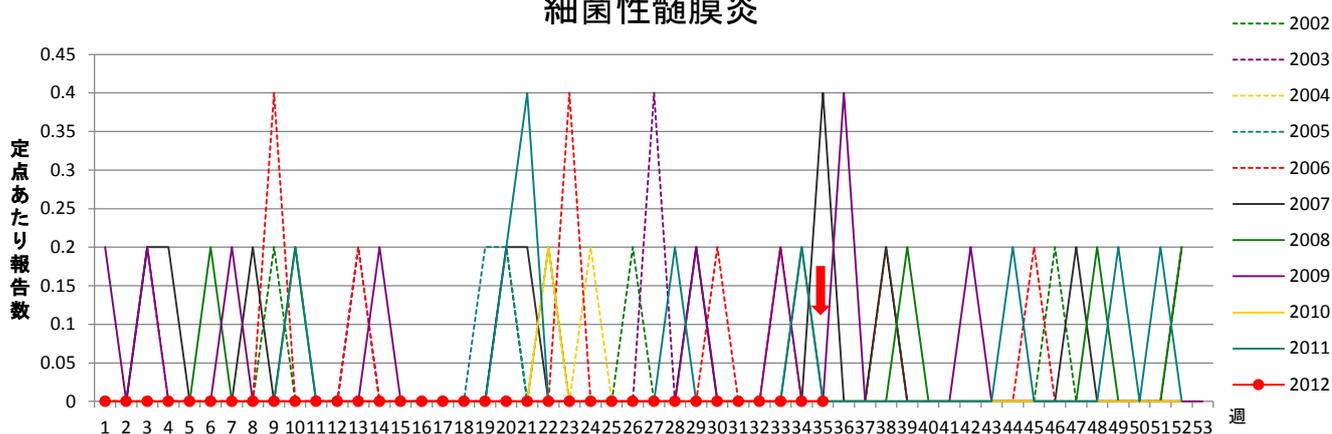
急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎

